

健康教育研究委員会

1 研究テーマ

自分の心や体の健康に関心を持ち、自ら健康な生活を選択して、実践しようとする力を高めていく指導はどうあったらよいか。

2 研究内容（研究授業）

期 日 平成22年11月17日（水）

研究授業（体重測定後の保健指導）	
学 校 名	須坂市立日滝小学校
題 材 名	「傷の中をのぞいてみよう」
授 業 学 級	6年東組（男子10名 女子13名 計22名）
授 業 者	大澤 晴江 養護教諭

- ・健康教育の領域は広く、養護教諭・教諭・栄養教諭など様々である。その様々な職種が関わりながら指導していく「保健指導」に焦点を当て研究をしてきた。
しかし、委員の多くをしめる養護教諭は、職務内容の緊急度の高い順に、「学校救急看護」「集団の健康管理」「保健指導」「人間形成」と成り立っている。実際、3つ目の位置にある「保健指導」はなかなか研究していくことができない日常である。同じことが、栄養教諭の職務にも、教諭の職務にも言えることである。
- ・「湿潤療法」という新しい傷の治療法（消毒しない・水でよく洗う・乾かさない）が注目されてきているが、その中で学校として取り入れていける部分は、傷の汚れをしっかりと洗い流し、体、本来が持っている「体を守る力」を充分に発揮するところと考え、そのメカニズムを説明する必要があるの
で、推進委員が、手作りで教材を製作することにした。郡研究ならではの活動である。
- ・今年度は、同じ教材を用いて、担任が行う学級活動としての保健指導と、養護教諭が行う体重測定後の保健指導、両方のあり方を研究をしてきた。
- ・当日は、日々の実践を更に研究し深めていくために、養護教諭が体重測定後の保健指導を公開した。

